

- 01 開発アカウントの作成とアプリケーションの設定
- 02 テスト環境利用案内
- **03** API機能一覧
- 04 開発の始めに
- **05** Order 連携処理フロー
- 06 Order連携についての参考情報・ヒント
- 07 メニュー連携及び参考情報・ヒント
- 08 リンク集

## 01 開発アカウントの作成とアプリケーションの設定

### 開発アカウントの作成とアプリケーションの設定

<u>https://developer.uber.com/</u> にアクセスし、右上の 'SIGN IN' ボタンをクリックし、画面に従いアカウントを作成してください。 詳細手順は別途添付します。



### 02 テスト環境利用 案内

### 注文のテストについて

- 1. https://www.ubereats.com/jp (UberではテストURLと商用URLは同じもの)にアクセスして、**Test Store Account**でサインインしてください。(Login with passwordを選択)
- 2. 配達先の住所を設定してください。(テストストアの住所の周辺に設定してください)
- 3. Test Storeをクリックして、注文を行ってください。





### 注文のテストについて

4. 注文を行うと、下記のような状態になります。本資料の [05 Order API 連携の処理フロー]を参照して、webhook受信を確認し、Get Order Details API、Accept/Cancel/Deny Order APIのテストを行ってください。

#### ■ Uber Eats



### 03 API機能一覧

### Uber Eats API 機能一覧と実装要否

種別	機能	リンク	実装要否
Order Order Notification webhook Webhook		https://developer.uber.com/docs/eats/api/webhook-orders-notification "event_type": "orders.notification"	必須
	Order Cancelled webhook	https://developer.uber.com/docs/eats/api/webhook-orders-cancel "event_type": "orders.cancel"	マーチャントによる
Order	Get Order Details API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-order-orderid	必須
	Accept Order API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-orders-orderid-acceptposorder	必須
	Cancel Order API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-orders-orderid-cancel	必須
	Patch Cart API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/patch-eats-orders-orderid- cart	小売店の場合は必須

種別	機能	リンク	実装要否
Order	Deny Order API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-ord ers-orderid-denyposorder	マーチャントによる
	Cancel Order APIのreason項目	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-orders-orderid-cancel Request Parameters: reason(OUT_OF_ITEMS,RESTAURANT_TOO_BUSY) reasonをOTHERを設定するとき、detailsに詳細原因を設定してください	必須
	Deny Order APIのreason項目	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-orders-orderid-denyposorder Request Parameters: reason.explanationに詳細原因を設定してください	Deny Order API 実装時は必 須
	Get Order Details APIのプロモーション項目	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-order-orderid#response-body-promotion Response Body: Promotions	必須

種別	機能	リンク	実装要否
Order	Get Order Details APIのカトラリー類のチェック ボックス項目	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-order-orderid#res ponse-body-disposable-items Response Body: Disposable Items - should_include	マー チャン トによ る

種別	機能	リンク	実装要否
Menu	Get Menu API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-stores-storeid-menus	必須
	Upload Menu API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/put-eats-stores-storeid-menus	必須
	Update Item API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/post-eats-stores-st oreid-menus-items-itemid	必須

種別	機能	リンク	実装要否
Integration Config APIs	OAuth Flow handled by POS Provider	https://developer.uber.com/docs/riders/guides/authentication/user-access-token	必須
AFIS	List All Stores API (with User Access Token)	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-stores	必須
	Get Integration Details API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-stores-storeid-posdata	必須
	Activate Integration API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-stores-st oreid-posdata	必須
	Remove Integration API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/delete-eats-stores- storeid-posdata	必須
	Update Integration Details API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/patch-eats-stores-s toreid-posdata	必須

種別	機能	リンク	実装要 否
Integration Config APIs	Integration Updated Webhook	https://developer.uber.com/docs/eats/api/webhook-store-provisioned	必須
	Integration Disabled Webhook	https://developer.uber.com/docs/eats/api/webhook-store-deprovisioned	必須

種別	機能	リンク	実装要
Store	Get Store Details API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-stores-storeid	推奨
	List All Stores API(with Client Credentials Token)	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-stores	推奨
	Get Restaurant Status API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-store-storeid-status	推奨
	Set Restaurant Status API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-store-storeid-status	推奨
	Get Store Holiday Hours API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/get-eats-stores-storeid-holidayhours	推奨
	Set Store Holiday Hours API	https://developer.uber.com/docs/eats/api/v1/post-eats-stores-storeid -holidayhours	推奨

### 04 開発の始めに

### Integration Config APIの実装について

店舗の連携設定をするために、最初に Integration Configの実装が必要です。

Integration Config APIでは、他のAPIが使うClient Credentials Tokenだけではなく、User Access Tokenの取得も必要です。

https://developer.uber.com/docs/eats/guides/integration-activation-flows とhttps://developer.uber.com/docs/riders/guides/authentication/user-access-token をご確認ください。

- ※1: テスト環境にてUser Access Token取得時の認証はTest UEM Accountを使ってください
- **※2:** Webhook URLを設定していない場合、Integration Config APIを実行できない(実行エラーになる)ので、ページ6に従って Webhook URLを設定してください。
- **※3:** Activate Integration APIを実行する際、body部に**"is\_order\_manager": true**を入れてください。

# 05 Order 連携処理フロー

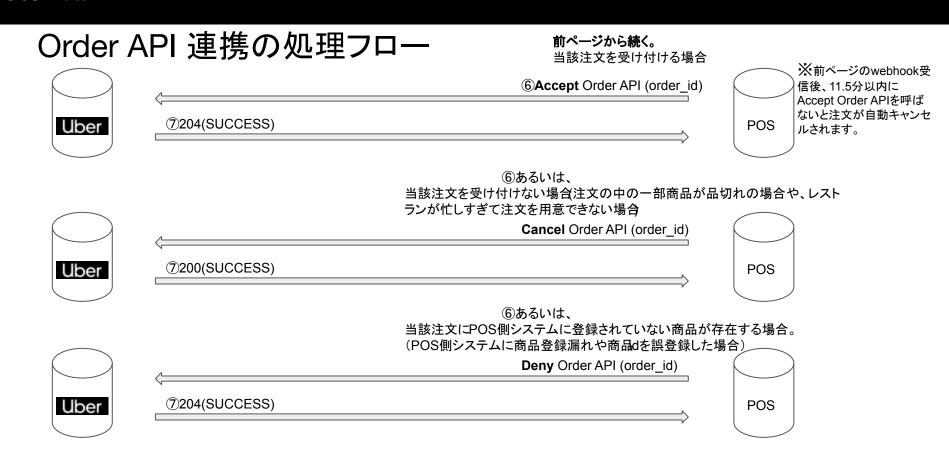
### Order API 連携の処理フロー

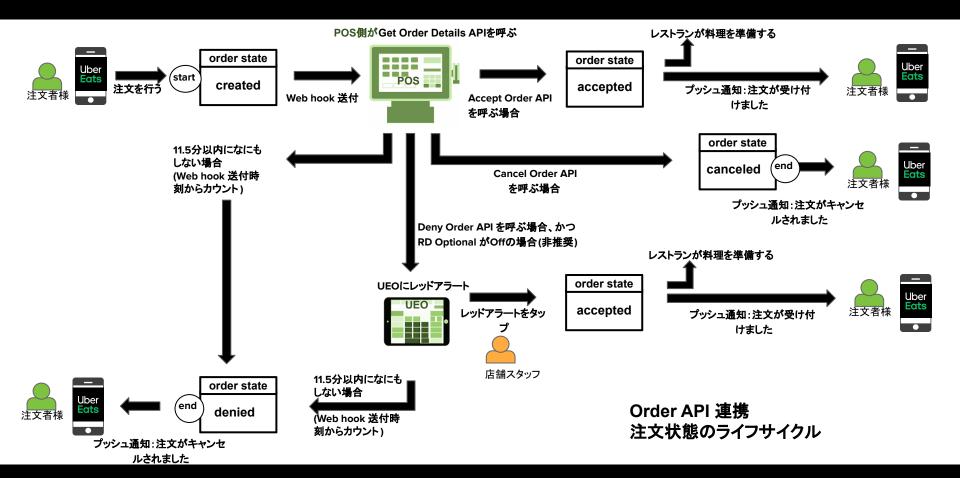


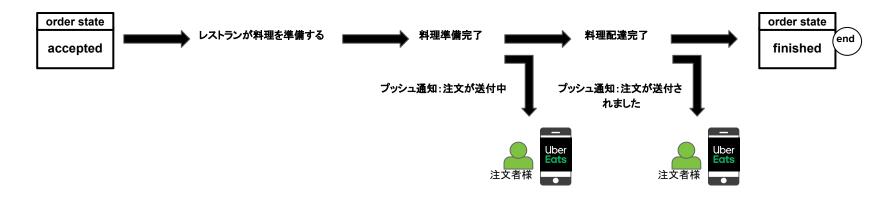
- ※ webhookに対して速やかに200を返却してください。(500,502-504を返却する場合や返却しない場合、webhookが再送(retry)されます。 それ以外のコードを返却する場合は再送しません。 POS側にてロードバランサーなどを経由する場合も、200で返却するよう注意してください)。
- ※ インターネットの一時的な遅延で webhookが再送される場合もありますので、200を返却した後、POS側の後続処理にて新規注文か再送注文かについて、resource\_idで判断するロジックを必ず実装してください。

webhookのresource\_idとOrder APIのorder\_idは同じもので、個別注文を特定する idです(一意性を保っています)。

詳細: https://developer.uber.com/docs/eats/introduction







注文をaccepted以降のフローはAPI POS連携前と同じ (当ページはAPI 連携と直接関係ありません)

# 06 Order連携についての参考情報・ヒント

### HTTPレスポンス エラーハンドリング

ライフサイクルを終えた注文(ページ23-24に"end"が付いているorder\_state)に対して、Accept/Deny Order APIを呼ぶと、404エラー("message": "Order not found")が返却されます。Cancel Order APIを呼ぶと、404エラー("message": "not found")が返却されます。エラーハンドリングを実装してください

(POS側がAccept/Cancel/Deny Order APIを呼ぶ前に注文者様が自らキャンセルするケースもあるため)。

stateはGet Order Details APIで取得できます。(Get Order Details APIで取得するjsonのrootのcurrent\_stateがorder\_stateになります。)

7日以内の注文に対して、ライフサイクルを終えてもGet Order Details APIにて情報を取得できます。

詳細: https://developer.uber.com/docs/eats/guides/order-states https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-order-orderid

### HTTPリクエスト リトライ

下記の場合、HTTPリクエスト(APIを呼ぶ)を間隔を空けて数回リトライしてください(例えば一回目のリトライは10秒後に実施、二回目のリトライは20秒後に実施、三回目のリトライを30秒後に実施)。

- 1. 7日以内の注文に対してGet Order Details APIが404エラーを返却した場合。
- 2. APIを呼んだ後、想定外のエラーコードを返却される場合(例えば500エラー)。
- 3. APIを呼んだ後、15秒経過してもHTTPレスポンスが返ってこない場合。(Upload Menu APIの場合は60秒)

### Tokenの使用について(Client Credentials Tokenと

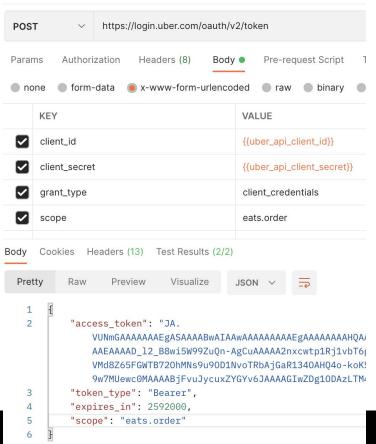
### User Access Token)

取得したTokenは、有効期限内(30日)に何回も使えるのでPOS側システムのサーバー側に保管してください。

Tokenの重複取得はUber側のサーバーに負担をかけるのでなるべくしないでください。

頻繁にTokenを取得する場合、一時的に Token取得が制限される場合があります。

右の図のresponseのexpires\_inが有効期限になります。(2592000秒=30日) 詳細: https://developer.uber.com/docs/eats/guides/authentication



### Order API 連携 POS側システムとの店舗のマッピング

POS側システムとの店舗のマッピングは Order APIのstoreのid(UUID)をご利用ください POS側システムにて当該 storeのidはどの店舗を指しているのかのマッピング情報を用意してください。 注文web hookがPOS側システムに送信されるとき、どの店舗に対する注文なのかは、店舗のマッピング情報で判断してください。

webhookのuser\_idとOrder APIのstoreのidは同じもので、個別店舗を特定する idです(一意性を保っています)。

```
"meta": {
     "resource_id": "153dd7f1-339d-4619-940c-418943c14636",
     "status": "pos",
     "user_id": "89dd9741-66b5-4bb4-b216-a813f3b21b4f"
},
```

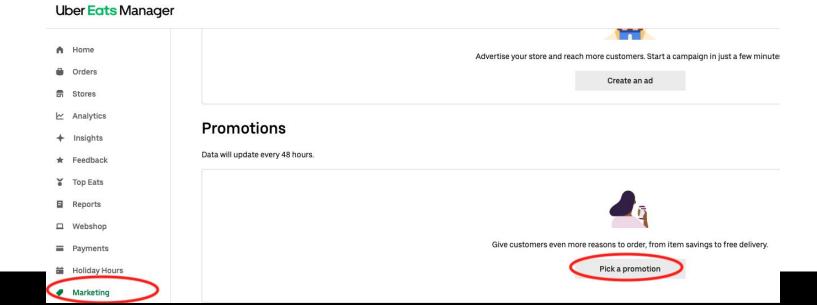
詳細: https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-order-orderid https://developer.uber.com/docs/eats/api/webhook-orders-notification

### Order API 連携 プロモーション項目に関する実装

```
Get Order Details APIの中のプロモーション項目に関して、
最低でも下記のpromo_type、promo_discount_value、discount_items項目の取得の実装が必要になります。
promo discount valueは当該注文の合計割引値になります。( Get Order Details APIに商品ごとの割引値は現在対応し
ておりません。)
promo_discount_percentage項目につきましては、現在日本では適用していません。(値は常に 0か1)
"promotions": {
      "promotions": [
         "external_promotion_ id": "",
         "promo type": "BOGO",
         "promo discount_value": -49000,
         "promo discount percentage": 0,
         "discount items": [
             "external id": "アップルジュース",
             "discounted quantity": 1
             "external id": "サラダ",
             "discounted quantity": 1
```

### 各種プロモーション(割引キャンペーン)の設定方法(設定方法はAPI連携実施前と同じ)

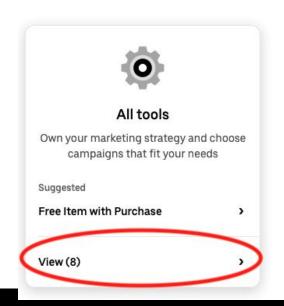
- 1. ブラウザを開いてUEM(UberEatsManager): https://merchants.ubereats.com/managerにアクセスし、テストアカウントでサインインしてください。
- 2. "Marketing"のタブをクリックして、"Pick a promotion"をクリックしてください。

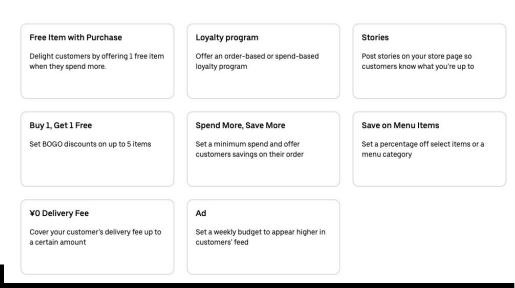


### 各種プロモーション(割引キャンペーン)の設定方法(設定方法はAPI連携実施前と同じ)

All tools

3. "All tools"の"View"をクリックすると、各種プロモーシー、バェニャャェオ





### 各種プロモーション(割引キャンペーン)の設定方法(設定方法はAPI連携実施前と同じ)

4. 実施したいプロモーションを選んでください。

種類1 Buy 1, Get 1 Free (promo\_type:BOGO):1つ頼むと1つ無料

種類2 ¥0 Delivery Fee (promo\_type:FREEDELIVERY): 無料配送

種類3 Spend More, Save More (promo\_type:FLATOFF): 指定される注文金額で自動割引

種類4 Free Item with Purchase (promo\_type:FREEITEM\_MINBASKET): 無料アイテム

種類5 Save on menu items (promo\_type:MENU\_ITEM\_DISCOUNTあるいはCATEGORY\_DISCOUNT):アイテム割引

5. プロモーション実施後、https://www.ubereats.com/jpにて注文を行うと、Get Order Details APIにてプロモーションに関する注文情報("promo\_type"などの項目)を取得できます。(ページ 30を参考)

### Order API 連携 カトラリー類のチェックボックス項目に関する実装

Get Order Details APIの中のカトラリー類のチェックボックス項目に関して、disposable\_itemsのshould\_includeがtrueの場合、カトラリーを要求されています。

```
"packaging": {
    "disposable_items": {
        "should_include": true
    }
},
```

カトラリー類、ストローなどのご要望

レストランへのメモを追加してください

お会計に進む・¥1,080

### POS側システム商品(アイテム)とのマッピング

注文に対してPOS側システム商品とのマッピングは Get Order Details APIのResponseのcartのitemsのid項目をご利用ください。

※External Dataを利用してマッピングする案もありましたが、非推奨になっています。どうしても External Dataでマッピングする 必要がある場合、ご相談ください。

itemsのid項目の編集/更新はUpload Menu APIを使います。(例えば"id": "A23456789012345"で更新する) まずGet Menu APIで既存メニューの json取得して、その jsonの中のitemsのidを編集/変更して、Upload Menu APIを使ってください。

https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/put-eats-stores-storeid-menus

# 07メニュー連携及び参考情報・ヒント

### Menu API 連携 メニュー構造

メニュー構造はレストラン様のメニューの特徴によって設計してください。

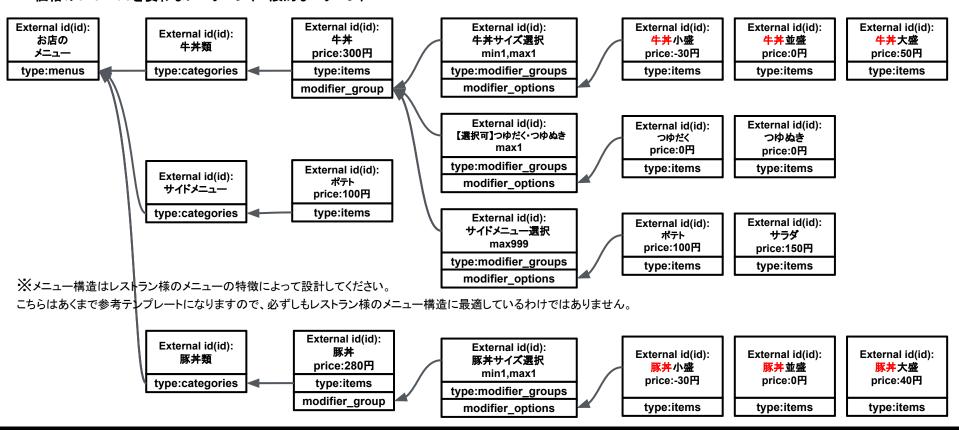
次の2ページは参考テンプレートになりますが、必ずしもレストラン様のメニュー構造に最適しているわけではありません。

### 現時点のメニュー構造 (json)はテスト店舗にて Get Menu APIを使って取得して確認してください。

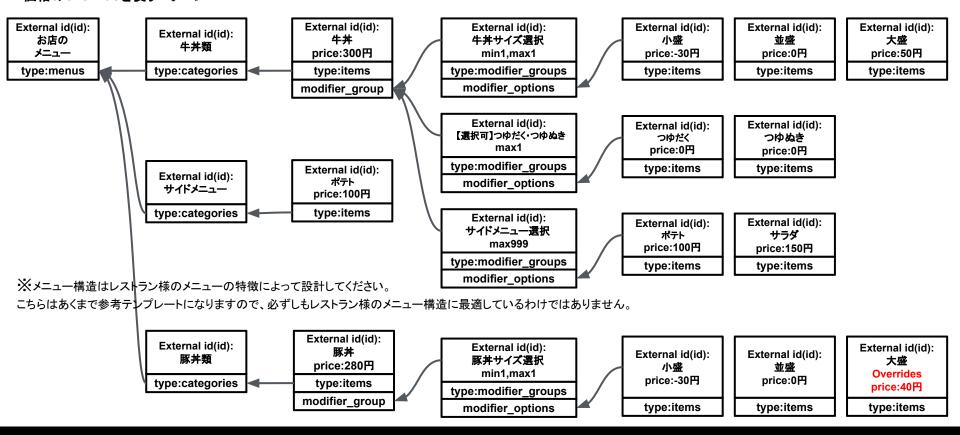
(API開発途中、商用店舗からテスト店舗へのメニュー反映は Uber側に依頼してください。) まずは現時点のメニュー構造 (json)の確認から始めてください。

https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/get-eats-stores-storeid-menus

#### 価格のoverrideを使わないパターン(一般的なパターン)



#### 価格のoverrideを使うパターン



### Menu API 連携 Upload Menu API のjsonの保管について

Uber側はUpload Menu API のjsonのログを保管しません。 メニュー更新に関する問い合わせや調査を依頼する際、Upload Menu API のjsonのログが必要になりますので 御社側のシステムにて少なくとも7世代保管するようおすすめします。

### 商品の売り切れの設定や価格変更の設定

リアルタイムでの個別商品の売り切れ(**suspend\_until**)の設定や価格変更の設定を行う場合はUpdate Item APIをご利用ください。

https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/post-eats-stores-storeid-menus-items-itemid

Request Body Parameters - Suspension

Describes why, and until when, an item is suspended from sale.

Name	Туре	Description
suspend_until	int	(optional) The time at which the item will return to being available for sale, specified as a Unix timestamp in seconds since Jan 1, 1970. A null value, or time in the past, indicates that an item is available - otherwise it will be shown as "Sold Out" and unavailable to order.

### 商品の売り切れの設定や価格変更の設定

夜間にて全商品一括(全商品を1API CALL)で商品ごとの売り切れ設定(suspend\_until)や売り切れ設定解除、価格変

更を行う場合はUpload Menu APIをご利用ください。

(1jsonの中で全商品を商品(id)単位で設定可能)

https://developer.uber.com/docs/eats/api/v2/put-eats-stores-storeid-menus

まずGet Menu APIを呼んでjson bodyを取得して、 それをベースに内容を更新してUpload Menu APIを呼んでください。

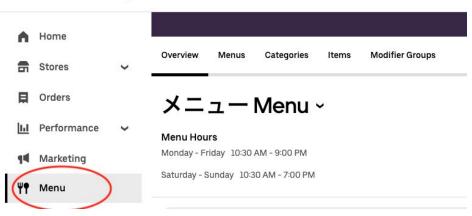
```
"id": "4719853583467",
"title": {
    "translations": {
        "en": "ポテトSサイズ"
"description": {
    "translations": {
        "en": "Sサイズのポテトです。"
"image_url": "https://aaa.bbb.jpeg",
"price info": {
    "price": 4000.
    "overrides": []
"quantity info": {
    "quantity": {},
    "overrides": []
"suspension info": {
    "suspension": {
        "suspend until": 864000000
```

### Menu API 連携

### Upload Menu API 使用する場合の注意事項

Upload Menu APIを使用する場合、Uber Eats ManagerのMenuタブ(Menu Maker)でメニューの更新することをお控えください。メニュー不整合が発生する可能性があるので、Upload Menu APIとMenu Makerを混ざってのご利用はお勧めしないことになっています。Upload Menu APIをご利用の場合、メニューの更新(メニュー追加、商品追加、商品の属性変更など)はすべてUpload Menu APIで行ってください。

#### Uber Eats Manager



### 08 リンク集

### リンク集

Product Name	説明	Link	Login Account(テスト環境)
		https://developer.uber.com/docs/eats/int	
API Documentation	API仕様書	roduction	N/A
Developer Dashboard	開発アプリケーション設定のサイト	https://developer.uber.com/	Developer Account
	Uber EatsのWebバージョン。注文を行う時に使い		
Web Uber Eats	ます。	https://www.ubereats.com	Test Store Account
	店舗管理画面。店舗関連の設定、プロモーション設		
Uber Eats Manager	定に使います。	https://restaurant.uber.com/	Test UEM Account
	メニュー編集のUIツール。Menu APIとの混用は不	https://restaurant.uber.com/manager/m	
Menu Maker	可	enumaker/店舗のstoreUUID/overview	Test UEM Account
	  店舗用の注文受付UberタブレットのWebバージョ	https://merchants.ubereats.com/orders/	
Uber Eats Orders	ン。	dashboard_v2/orders/all	Test Store Account
	Uber Eats APIのPostman Collections と		
Postman Bundle	Environment.	Uber Eats APIs Postman Bundle	Client ID/Secret

### **Uber Eats**